

平成 27 年度

地域政策科学研究科 (後期)

一般入試

専門科目

時間 90 分

(午前10:00~11:30)

---

注意事項

---

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、この表紙を除いて 2 枚、解答用紙は 1 枚です。  
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出て下さい。
3. 解答用紙の指定欄に科目名と受験番号を必ず記入して下さい。
4. 解答は、別紙の解答用紙に横書きで記入して下さい。
5. 試験終了の合図とともに、ただちに、筆記用具を机の上に置いて下さい。
6. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。

平成27年度（後期）

（一般入試）

## 地域史

問1 次の語句について説明しなさい。

- (1) 寄生地主 (2) 日露戦争 (3) 米騒動 (4) 元老

問2 資料を読んで以下の問いに答えなさい。

- (1) 資料の冒頭にある「農山漁村疲弊ノ現状」の原因として、どのようなことが指摘されているか説明しなさい。
- (2) 「農山漁村疲弊ノ現状」を改善するために何が必要だと述べているのか説明しなさい。
- (3) 農山漁村経済更生計画において、地方行政に求められた役割とはどのようなものか説明しなさい。

## ○農林省訓令第二号

庁 府 県

## 農山漁村経済更生計画ニ関スル件

農山漁村疲弊ノ現状ニ鑑ミ其ノ不況ヲ匡救シ産業ノ振興ヲ図リテ民心ノ安定ヲ策シ進ンデ農山漁村ノ更生ニ努ムルハ刻下緊急ノ要務タリ

政府ハ曩ニ之ガ救済ニ関スル應急的匡救策ヲ樹テ今ヤ其ノ実行ニ付キ最善ノ努力ヲ竭シツ、アリト雖之等ノ施設ヲシテ当面ノ一時的効果ニ止マラシメズ農山漁家ノ経済生活ヲ安定セシメ更ニ将来ニ向ツテ其ノ福利ヲ増進セシムルガ為ニハ現下農村疲弊ノ由来セル要因ガ箇ニ輓近内外経済界ノ異常ナル不況ニ職由スルノミナラス深ク農村経済ノ運営及組織ノ根柢ニ横ハルモノアル実状ヲ明ニシ農山漁家ノ自醒ヲ促スト共ニ其ノ禍因ノ芟除ニ努力セシムルノ要アリ之ガ為ニハ農村部落ニ於ケル固有ノ美風タル隣保共助ノ精神ヲ活用シ其ノ経済生活ノ上ニ之ヲ徹底セシメ以テ農山漁村ニ於ケル産業及経済ノ計画的組織の刷新ヲ企図セザルベカラズ

政府ガ今回新ニ農林省ニ経済更生部ヲ設置シ経済更生計画ニ関スル諸般ノ方策ヲ実施セントスルノ趣旨モ亦茲ニ存ス其ノ綱要トスル所ハ単ニ農林漁業各個ノ経営、技術ノ改善ヲ指導普及スルニ止マラズ農山漁村経済全般ニ亘リ計画的且組織的

ニ整備改善ヲ図ルニ在リ就中農業経営ノ基本的要素ノ整備活用、生産販売購買ノ統制、金融ノ改善、産業組合ノ刷新普及、産業諸団体ノ連絡統制、備荒共済施設ノ充實等ハ其ノ主要ナル事項ニ属ス而シテ之等ニ関シ指導上必要ナル具体的方針ニ関シテハ今後隨時指示スル所アラントス

今ヤ各地方自奮更生ノ意気熾ナルモノアリ此ノ秋叙上ノ趣旨ノ徹底ヲ図リ農山漁村ヲシテ其ノ経済更生ニ邁進セシムルハ真ニ恰好ノ機会ナリトス然リト雖此ノ事タルヤ永年ニ亘リ逐次其ノ効果ヲ収ムベキモノナルヲ以テ計画ノ当初ニ於テ一歩ヲ誤ランカ徒ラニ画餅ニ帰スルノ虞アリ仍テ地方当局ニ於テハ経済更生計画ノ当事者ヲシテ案リニ理想ニ走ラズ性急ニ流レズ中心人物ニ克ク其ノ人ヲ得堅実適切ナル計画ノ樹立実行ヲ為サシムルト共ニ他面之ニ参画スベキ各種産業団体ニ對シテハ其ノ本質ニ応ズル分野ニ於テ充分其ノ機能ヲ發揮セシムル様指導督励セラルベク更ニ又精神教化運動トノ連絡協調ヲ密ニシ官民一致大ニ自奮更生ノ民風ヲ興起シ組織的統制的地方経済生活ノ整備振作ヲ図リ以テ農山漁村更生ノ目的達成上遺憾ナキヲ期セラルベシ

昭和七年十月六日

農林大臣 後藤 文夫

〔出典〕『法令全書』昭和七年第一〇号、一九三二年一月。